

# 子どもと女性への放射能の影響

## ～チェルノブイリから福島をみる～

たくさん子どもたちが放射能の犠牲になったチェルノブイリ原発事故から25年、再びあってはならない原発事故が福島で起きてしまいました。放射能汚染への不安が広がる一方の現在、特に心配されるのは子どもたちへの影響です。長年医師としてチェルノブイリの子どもたちを支援してきた振津さんに、その経験から福島の子どもの現状について話していただき、私たち大人が放射能汚染とどう向き合い、どう行動していけばいいか、未来を担う子どもたちのために一緒に考えたいと思います。

**日時：2011年10月1日（土）午後2時～4時**

**場所：とよなか国際交流センター 会議室2A, B, C**  
(阪急豊中駅すぐ、エトレ豊中6F)

**講師：<sup>ふりっ</sup>振津かつみさん** (医師、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西事務局)

### ☆プロフィール

内科臨床医として、大阪在住の原爆被爆者の健康管理に携わる中で、放射線の健康への影響について改めて大阪大学大学院医学系研究科(放射線基礎医学専攻)にて学ぶ。現在、兵庫医科大学非常勤医師、遺伝学非常勤講師。

1991年に「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」を発足し、毎年ベラルーシのチェルノブイリ被災地を訪問。世界のヒバクシャ問題にも関心を寄せ、核実験被害者、ウラン採掘による被害を受けた米国先住民などとも交流。2004年から、「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW)運営委員、科学チーム員。

**参加費：300円** (資料代含む)

一時保育あり・要予約 9月24日までにすてっぷへ

〔 1歳～小学3年生まで (子供1人につき525円)  
裏面に申込用紙あり (TEL06-6844-9773) 〕

**主催：NPO法人 国際交流の会とよなか (TIFA)**

**連絡先：TEL/FAX：06-6840-1014**

**協賛：財団法人 とよなか男女共同参画推進財団**

